

そのほかの本



『石ころがうまれた ビロード石誕生のひみつ』

渡辺一夫著 ポプラ社 2004年
ISBN 978-4-591-08384-0

『身近な植物となかよくなるう

標本づくりと図鑑の見かた』

田中肇著 さ・え・ら書房 1988年
ISBN 978-4-378-03847-6

『ぼくらはみんな生きている 都市動物観察記』

有佐々木洋文・写真 講談社 2004年

『自由研究図鑑

身近なふしぎをたんけんしよう』

有沢重雄文 月本佳代美絵 福音館書店 1998年
ISBN 978-4-8340-1548-5

『ぼくのコレクション 自然のなかの宝さがし』

盛口満文・絵 福音館書店 2001年
ISBN 978-4-8340-1725-0

『理科の自由研究のまとめ方 基本編』

高梨賢英・馬場勝良共著 さ・え・ら書房
改訂2002年 ISBN 978-4-378-03866-7

身近なものを調べる

身のまわりに、当たり前にあるもの
に、ちょっと目をとめて、調べてみませ
んか？
おもしろい発見があるかもしれません。
誰でもできる調査方法、観察方法がわ
かります。

東京都立多摩図書館

<http://www.library.metro.tokyo.jp/j>

平成21年5月



『わたしのノラネコ研究』
山根明弘著 さ・え・ら書房
2007年

街角に住むノラネコも、立派な野生動物だ。1匹ずつ識別カードを書いて、名前をつけ、どんな行動をしているか、何をしているか記録に取ると、ネコの行動圏やエサ場の関係などがわかる。

著者は、玄界灘の小さな島で、7年間ノラネコの調査をして、どんなネコが強いのか、どんなネコが子孫を残すのか、面白い研究を発表している。



『どんぐりの穴のひみつ』
高柳芳恵文 つだかつみ絵
偕成社 2006年

どんぐりにあいた穴。どんな虫があけたのだろう。たくさんのだんぐりを拾って、調べてみると、穴の数と虫の数があわない。穴は、9個で、幼虫は15匹なんてこともあって、自分で穴を作らないちゃっかりした虫もいるらしい。虫の種類もさまざまだ。



『土のコレクション』
栗田宏一著 フレーベル館
2004年

土をフルイにかけて、細かくして乾かすと、様々な色になる。「土色」と思っていた土にこんなたくさんの色が隠されていたのかと、驚く。著者が集めた世界中の土が1万種以上、並んでいる。

庭や校庭の土をビンに入れば、自分の土のコレクションができる。